



TSUCHIMARU
 TSUCHIURA
 REPORTAGE

土浦のアルストロメリア

市内のさまざまなスポットやイベントに突撃取材を行う、つちまる土浦ルポルタージュ(TTR)。第3回目は、土浦市で生産が盛んな花き、アルストロメリアを取り上げます。

土浦市は県内でも有数の花きの産地。アルストロメリアで県の銘柄推進産地に、グラジオオラスで県の銘柄産地に指定されています。

今回は、花き農家の実際の生産現場に潜入取材を試みました。

潜入！花き農家!!

高さ3メートル近い巨大なビニールハウスに入ると、一面に生い茂るアルストロメリアの中に、黙々と作業する男性の姿がありました。



作業をしている男性は、湯原賢司さん。2月に開催された「第44回茨城県花の展示会」で農林水産大臣賞を受賞しました。

湯原さんに聞いたところ、アルストロメリアは品種が豊富で、色彩が鮮やかなことから、花束やフラワーアレンジメントなどに多く用いられるそうです。他の花にない一番の特徴は、抜群の花持ちの良さで、適度に水を替えるだけで1か月くらいは花を楽しめることができる、と教えてくれました。

アルストロメリアの花言葉は「献身的な愛」。花言葉のように献身的な愛をいっぱい受けて育てられた花たちは、私たちの生活に「和み」や「華」を与えてくれます。

父の日に花を贈ろう

市内では、アルストロメリアやグラジオオラスのほか、小菊やガーベラなどの生産も盛んです。

ところが、新型コロナウイルスの影響で卒業式や歓迎会、各種イベントなどが縮小・中止となり、花きの需要が大きく減少しています。

今年21日は父の日です。この機会に、土浦が誇る名産の花を、お父さんに贈ってみてはいかがでしょうか。

お知らせ

4月上旬号のTTRのコーナーで「学祭TSUCHIURARA2020」の企画検討会議について特集しましたが、参加生徒および関係者の皆さんの健康と安全面を考慮し、開催を中止することになりました。ご理解くださいますようお願いいたします。